

令和7年度当初予算の概要について

一般会計予算額 7,541億5,000万円

《重点施策》

・人口減少対策	49億6,258万円
・DX・官民共創の推進	85億5,848万円
・防災・減災対策	141億5,682万円
・地域経済の活性化（海外展開）	1億1,806万円
・地域経済の活性化（観光）	13億7,899万円
・地域経済の活性化（地域産業振興）	52億9,111万円

《今治市、上島町関係の主な施策》

・しまなみ海道魅力向上事業	3,182万円
・離島航路整備事業（今治市・上島町分）	1億3,295万円
・スーパーヨット誘致促進事業	2,796万円
・自転車走行環境整備事業	4,500万円
・今治小松自動車道周辺整備対策費	719万円

特別会計予算額 2,449億6,140万円

国民健康保険事業、公債管理、公共用地整備事業など

企業会計予算額 738億4,302万円

病院・電気・工業用水道事業

当初予算合計額 1兆729億5,442万円

主な歳入

・県税	1,786億円
・地方消費税	710億1,400万円
・地方交付税	1,775億円
・国庫支出金	808億9,458万円

県立今治病院の移転計画見直し

老朽化が進む今治病院は、令和5年11月に移転新築の基本計画を策定しました。

しかし、昨年度は4つの県立病院が33億円の赤字となる経営状況の悪化に加え、建設コストの大幅な上昇や看護師不足などの要因も重なり、将来負担を考慮して当初予算での事業費の計上が見送られました。

中村知事も公約で事業の必要性を掲げており、今後、県と今治市及び今治市医師会等との協議の上、計画を見直すこととなります。今治圏域の中核病院としての役割を果たせる新病院の早期開院を目指して参ります。



今治市・越智郡選出の県議全員で、東野政隆県公営企業管理者へ新病院の早期開院を求める要望を行う（3/14）

観光スポーツ文教警察委員会 西岡あつたの主な質問内容

3/13・14
速記録【未定稿】

【西岡新】自転車国際会議（Velo-city2027）開催による地域への恩恵や経済効果は？

【自転車新文化推進課長】2019年開催のアイランド・ダブリンにおいて、地域及び国で推定400万ユーロ（約6億4千万円）の経済効果をもたらしている。また、国内外から1,000名を超える参加者と家族等が4日間に渡り体験宿泊する。何より、自転車大国であるヨーロッパでの飛躍的な知名度の向上により、更なる誘客促進につながる。

【西岡新】高校授業料の無償化による県内で想定される影響は？

【高校教育課長】私立高校が複数ある松山市や今治市では、進学先の選択が広がるために一定の影響が出るが、その他の地域では大きな影響はない。

【西岡新】県立高校入試では不合格者1人など少数の事例がみられる。同一性に安心する日本人の国民性では、当事者になってしまった生徒や家族への精神的負担が大きすぎるため、定員のあり方を再考すべきではないか？

【高校教育課長】地域の意見も踏まえ定員を設定して志願変更ほか、中学校と協力し、こういった指導が望ましいか義務教育課とも連携して考えて参りたい。

【西岡新】道路標識など交通安全施設の新設・更新で、令和7年度は約1億円増となる3億7,488万円の予算を計上しているが、対策の内訳は？

【県警交通部長】令和7年度は、信号灯器89灯、道路標識551本、横断歩道の整備が1,570本、道路のはみ出し通行禁止等の実線の整備が6キロメートル、停止線や文字等の標示整備3,010個を予定している。耐用年数は道路標識が約20年、横断歩道の表示は5～8年で、定期点検及びパトロールで状況確認をしており、住民からの要望や相談にも可能な限り早急に対応している。



環境保健福祉委員会に所属

今年度は環境保健福祉委員会に所属しました。同委員会では県民生活の向上、男女共同参画の推進、環境施策の総合企画、防災対策及び保健衛生、社会福祉・社会保障などについて審査します。

今治市林野火災の検証・復旧へ

3月末の林野火災では、県内外の消防関係者をはじめ、自衛隊や他県・市からの消防防災ヘリの応援による献身的な活動で鎮火しましたが、約442ヘクタールが焼損し、避難指示も広範囲に及びました。

今後、二次災害の防止や復旧への予算措置、災害対応の検証を行う必要があります。同委員会の所管事項でもあるため、県政に反映させるべく、ご意見や要望等をお聞かせ下さい。



事務所や倉庫などが全焼した被害現場（4/3）